

滋賀県の道路についてのアンケート結果

県では、今後の道路整備や道路の維持管理等の方針を検討するにあたり、webモニター（滋賀県在住者）の方々を対象として県内の道路に対する意識や意向などを把握することを目的とするアンケート調査を実施しました。

★調査時期：平成25年11月

★対象者：民間会社のwebモニター（滋賀県在住者かつ18～79歳の県在住者、運転免許保有者）

★回答数：700人

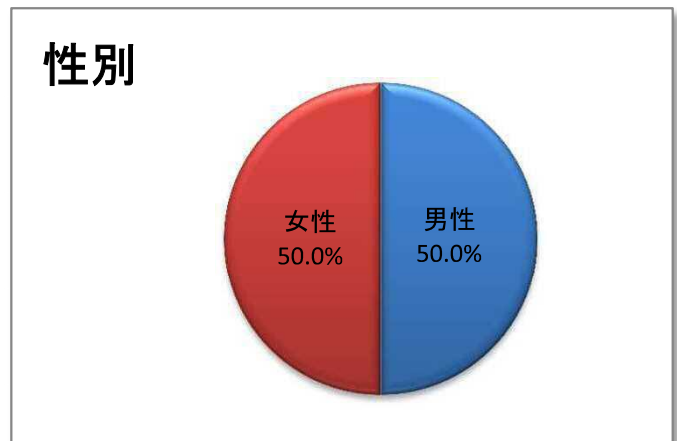
★担当課：土木交通部道路課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【属性】

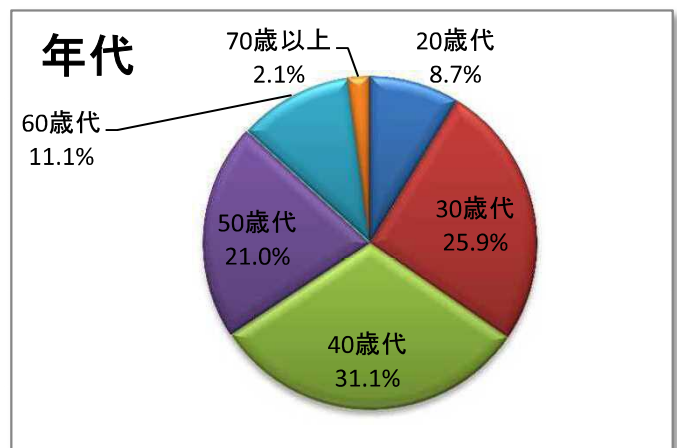
◆性別

項目	人数	割合
男性	350人	50.0%
女性	350人	50.0%
合計	700人	100.0%



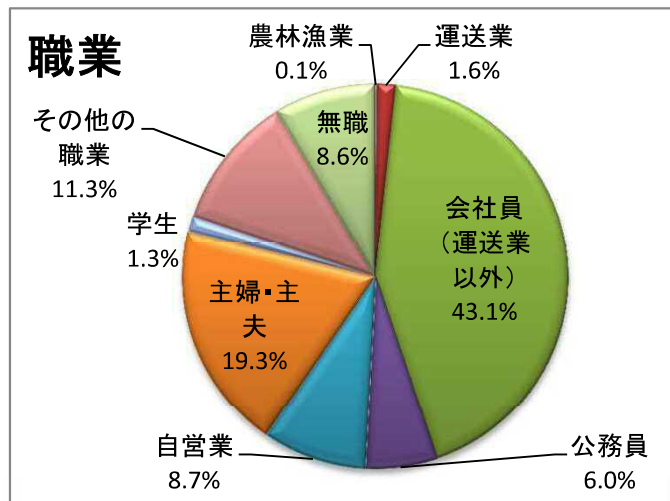
◆年代

項目	人数	割合
20歳代	61人	8.7%
30歳代	181人	25.9%
40歳代	218人	31.1%
50歳代	147人	21.0%
60歳代	78人	11.1%
70歳以上	15人	2.1%
合計	700人	100.0%



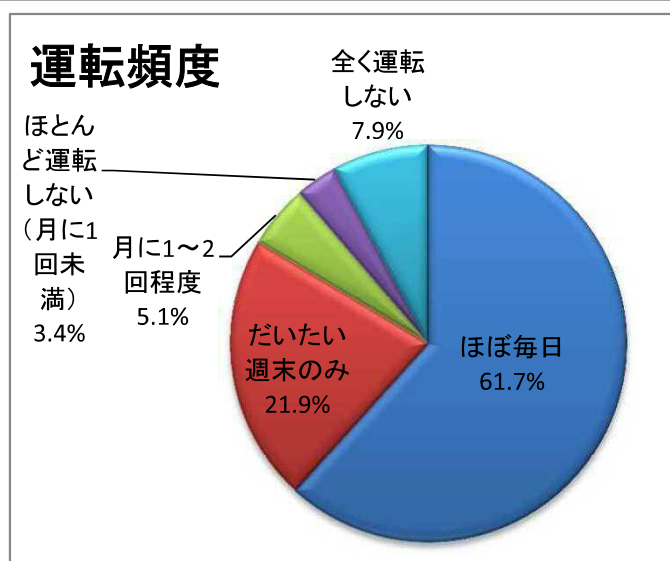
問2 あなたのご職業を教えてください。（回答チェックは1つだけ）

項目	人数	割合
農林漁業	1人	0.1%
運送業	11人	1.6%
会社員（運送業以外）	302人	43.1%
公務員	42人	6.0%
自営業	61人	8.7%
主婦・主夫	135人	19.3%
学生	9人	1.3%
その他の職業	79人	11.3%
無職	60人	8.6%
合計	700人	100.0%



問3 あなたが自動車を運転する頻度をお答えください。（回答チェックは1つだけ）

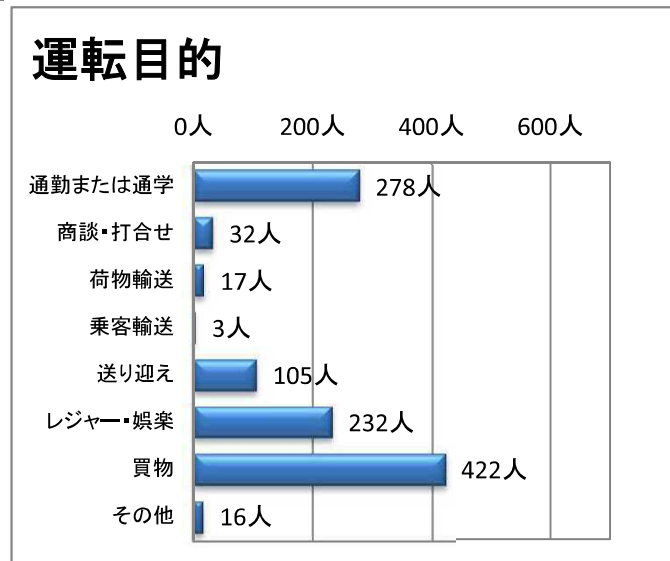
項目	人数	割合
ほぼ毎日	432人	61.7%
だいたい週末のみ	153人	21.9%
月に1~2回程度	36人	5.1%
ほとんど運転しない（月に1回未満）	24人	3.4%
全く運転しない	55人	7.9%
合計	700人	100.0%



問4 あなたが自動車を運転する時の主な移動目的を最大2つ選んでください。（2つまで）
（問3で「全く運転しない」以外を選択した方（645名）が対象）

項目	人数	割合
通勤または通学	278人	43.1%
商談・打合せ	32人	5.0%
荷物輸送	17人	2.6%
乗客輸送	3人	0.5%
送り迎え	105人	16.3%
レジャー・娯楽	232人	36.0%
買物	422人	65.4%
その他	16人	2.5%

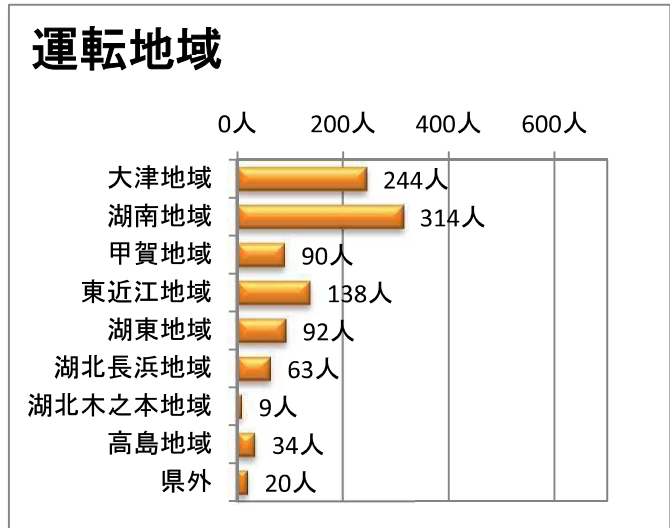
※n=645



問5 .あなたが自動車を運転して走行する主な地域を以下の中より最大2つ選んでください。
 ※県外をお選びになる方は都道府県名を記入してください。
 (問3で「全く運転しない」以外を選択した方(645名)が対象)

項目	人数	割合
大津地域	244人	37.8%
湖南地域	314人	48.7%
甲賀地域	90人	14.0%
東近江地域	138人	21.4%
湖東地域	92人	14.3%
湖北長浜地域	63人	9.8%
湖北木之本地域	9人	1.4%
高島地域	34人	5.3%
県外	20人	3.1%

※n=645



問6 将来的に、あなたが利用する交通手段(移動手段)はどのように変化したいと思いますか。
 あなたのお考えを5段階で評価してください。(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

A) 公共交通機関(電車・バス)で移動する

項目	人数	割合
増える	42人	6.0%
少し増える	117人	16.7%
変わらない	456人	65.1%
少し減る	27人	3.9%
減る	58人	8.3%
合計	700人	100.0%

B) 自動車(自家用・タクシー・レンタカー含む)で移動する

項目	人数	割合
増える	63人	9.0%
少し増える	101人	14.4%
変わらない	464人	66.3%
少し減る	49人	7.0%
減る	23人	3.3%
合計	700人	100.0%

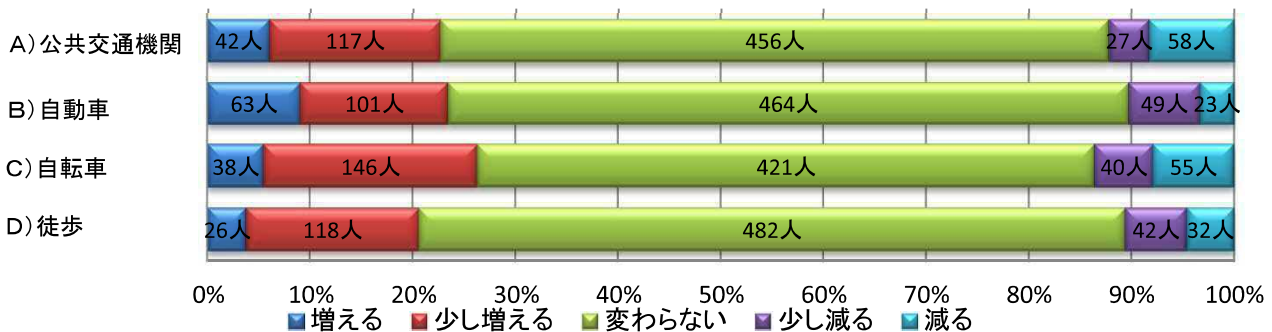
C) 自転車で移動する

項目	人数	割合
増える	38人	5.4%
少し増える	146人	20.9%
変わらない	421人	60.1%
少し減る	40人	5.7%
減る	55人	7.9%
合計	700人	100.0%

D) 徒歩で移動する

項目	人数	割合
増える	26人	3.7%
少し増える	118人	16.9%
変わらない	482人	68.9%
少し減る	42人	6.0%
減る	32人	4.6%
合計	700人	100.0%

将来の交通手段の転換意向

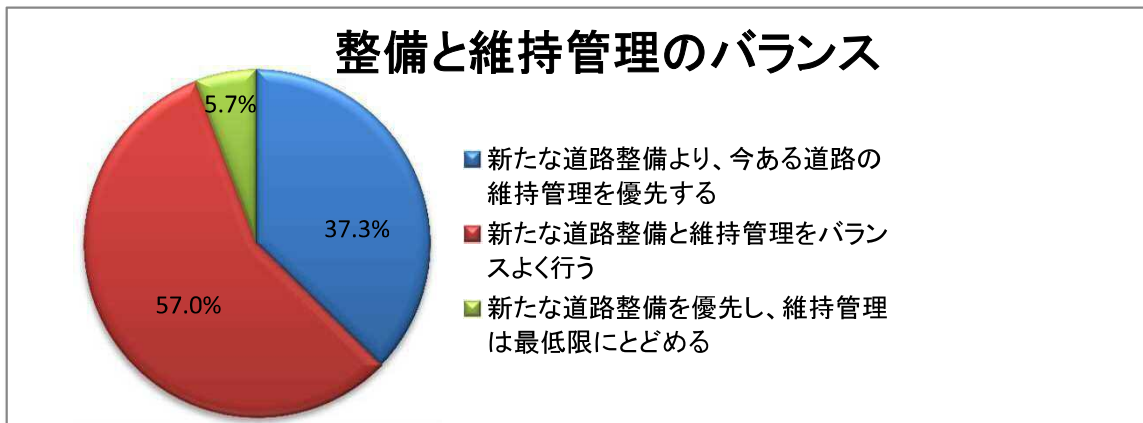


ここからは、県内の道路整備と維持管理のあり方について伺います。

県の道路関係予算はピーク時の半分程度まで落ち込んでいます。一方で、橋・トンネルなどの重要な道路構造物の老朽化対策を重点的に進めていく必要があります。このため、今後は限られた予算の中で、新たな道路整備（バイパス整備・道路拡幅等）と日常の維持管理（舗装補修・除草作業等）を行っていくこととなります。

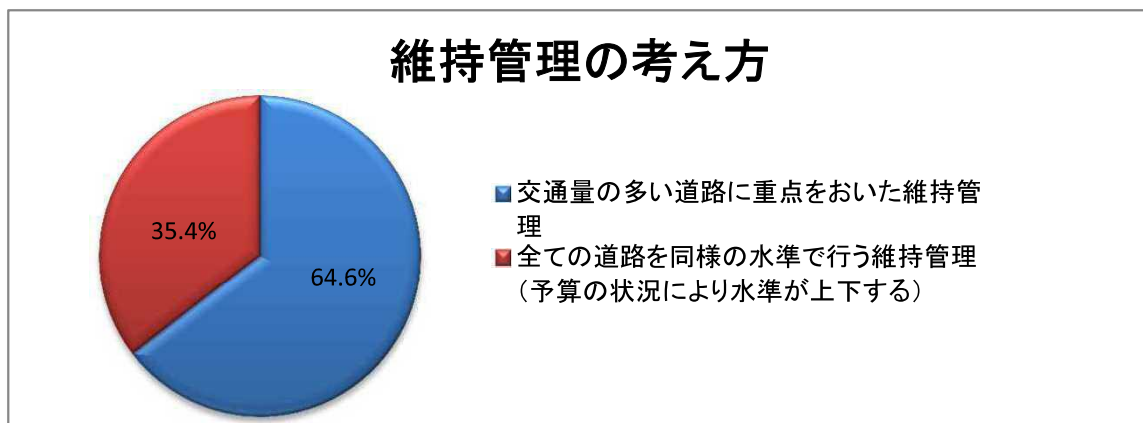
問7 そこで、新たな道路整備（バイパス整備・道路拡幅等）と日常の維持管理（舗装補修・除草作業等）の関係について、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

項目	人数	割合
新たな道路整備より、今ある道路の維持管理を優先する	261人	37.3%
新たな道路整備と維持管理をバランスよく行う	399人	57.0%
新たな道路整備を優先し、維持管理は最低限にとどめる	40人	5.7%
合計	700人	100.0%



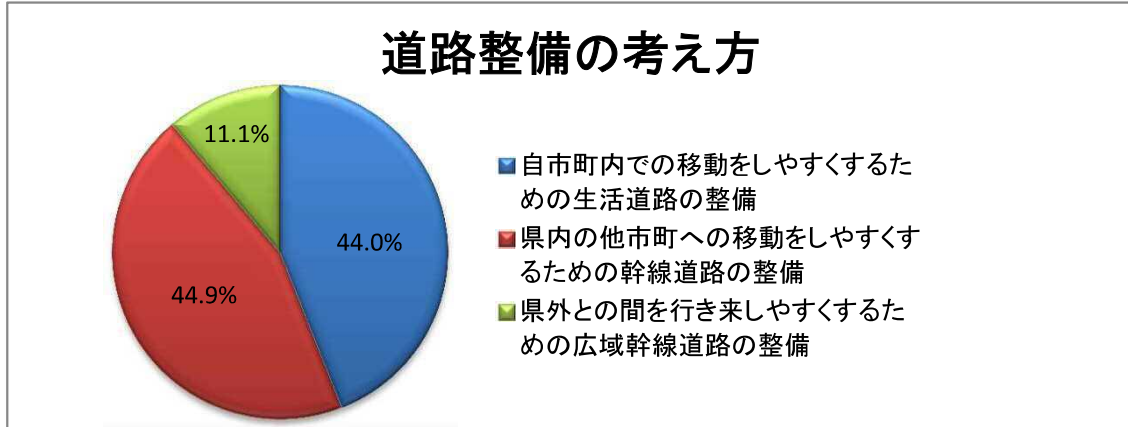
問8 限られた予算の中でどのように日常の維持管理（舗装補修、除草等）を行うべきか、あなたのお考えをお答えください。（回答チェックは1つだけ）

項目	人数	割合
交通量の多い道路に重点をおいた維持管理	452人	64.6%
全ての道路を同様の水準で行う維持管理 （予算の状況により水準が上下する）	248人	35.4%
合計	700人	100.0%



問9 県内の道路整備において、自動車での移動に関して特に重要と考えておられるものをお答えください。（回答チェックは1つだけ）

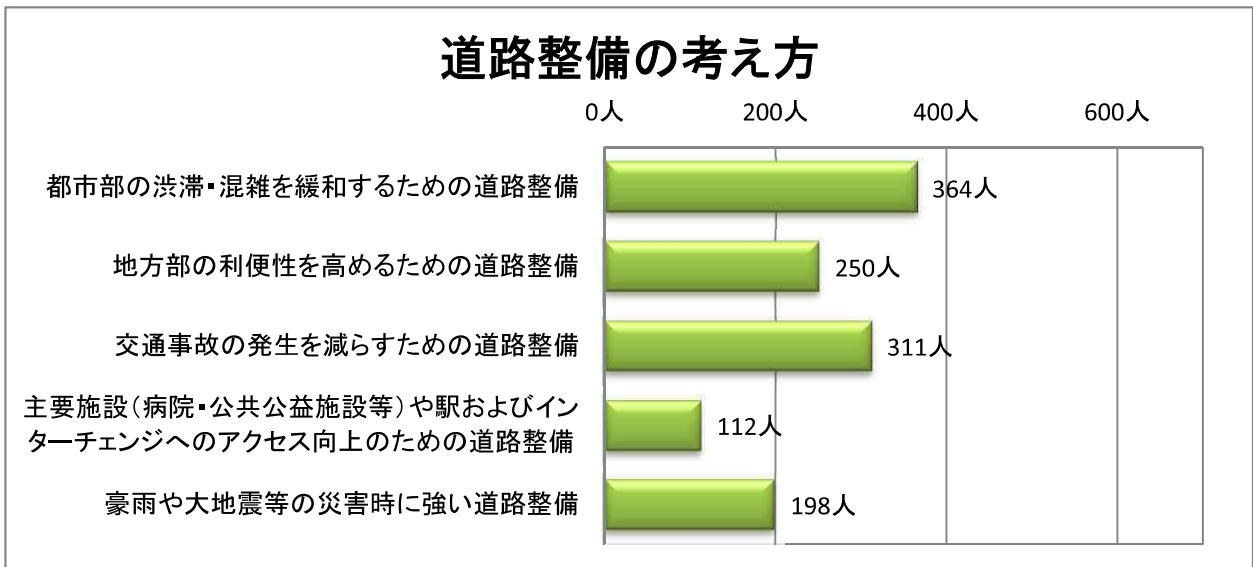
項目	人数	割合
自市町内での移動をしやすいするための生活道路の整備	308人	44.0%
県内の他市町への移動をしやすいための幹線道路の整備	314人	44.9%
県外との間を行き来しやすいための広域幹線道路の整備	78人	11.1%
合計	700人	100.0%



問10 県内の道路整備において、道路の役割に関して特に重要と考えられるものを以下の中より最大2つ選んでください。

項目	人数	割合
都市部の渋滞・混雑を緩和するための道路整備	364人	52.0%
地方部の利便性を高めるための道路整備	250人	35.7%
交通事故の発生を減らすための道路整備	311人	44.4%
主要施設（病院・公共公益施設等）や駅およびインターチェンジへのアクセス向上のための道路整備	112人	16.0%
豪雨や大地震等の災害時に強い道路整備	198人	28.3%

※n=700



問11 その他、滋賀県内の道路に対するご意見・ご要望など、お気づきの点がございましたら、ご自由に記入して下さい。（主な意見を抜粋）

（有料道路について）

- 県内移動で、有料の橋を無料化を早くしてもらいたい、滋賀県内の他市街地への交流が活発になると思う。

（道路整備の方針について）

- 多数の路線を何年もかけて並行に少しずつ整備するのではなく、短期間に集中して1路線ずつ整備して欲しい。
- 滋賀県は四方を山に囲まれているので仕方が無いのかもしれないが、県外への移動において少し不便を感じる。
- 比較的広い道路が多いが、都市部の道路、特に京都や大阪へつなぐ道がわかりやすくなるように整備してほしい。
- 国道に車が集中するので、それを分散できるバイパスなどの整備をしてほしい。
- 交通量の少ないところでも、立派な道路がある。そのまた逆で、多いところに狭いなど通行しづらい道路がある。少ない予算の中で適切なバランスを検討してほしい。
- 高島地域は湖西道路の小松以北の整備を急いで進めてほしい。迂回路がないので何かあれば大きな問題になってしまう。
- 湖西に住んでいるが、湖西の道路は、幅が狭く渋滞が激しい。
- 大津～高島間では、1本しか道路がないところがあり、土日の渋滞がひどい。災害などで緊急に行き来しなければいけない場合にそうした道路が使えなければ、琵琶湖の北回りや山越えで行き来する必要性が生じ、陸の孤島と化してしまうことも考えられる。抜け道や新しい道を作ってほしいと感じる。
- 鉄道駅にアクセスするための道路整備をもっと進めてほしい。
- 道路を整備することでの目標がみえない。単に渋滞緩和といったことではなく、まちづくりと一体となった、滋賀県としての今後の大きな目標は何なのかよく考えてほしい。
- 本当に補修が必要なのか疑問に感じる工事が多い一方、早く補修してほしいところは放置されたままとすることが少なくない。予算が減るという状況であれば、一層無駄な工事は実施せず、に本当に必要な工事をしてほしい。
- 人口が増加している割に道路整備が遅れている。道路整備では人口も考慮すべきである。

（渋滞対策について）

- 他府県と異なり滋賀県の人口は増加傾向であり、それに伴い車の数も増え以前にない渋滞箇所が多くなっています。渋滞頻度の高い場所のバイパス建設や信号機の連動性（全面青全面赤の名古屋方式）を実施する必要があると考えます。
- 常時混雑する道路（場所）が決まっている様に思うので、抜本的な対策が必要だと思う。また傷んでいる道路が沢山ある様に感じ、その対策（修理）も遅い。傷んでいる道路は、交通事故を誘発するので、迅速な修理をして欲しい。
- 国道1号や8号などの混みぐらいが大変激しい。琵琶湖があるから仕方がないのは分かるが、もう少し渋滞を緩和するよう有効な道路整備を期待している。

- 交通量が増えているところでの事故が目立つ気がする。公共交通機関の充実と渋滞緩和への取り組みに期待している。
また、県民の運転マナーはあまり良いと思えないので、運転マナー向上に向けての取り組みも必要と思う。
- 県南部では人口増加に伴い、渋滞の箇所と時間がともに増えている。バイパス建設などの対策を鋭意進めてもらえればと思う。
- 大津市や草津市及びその近辺の渋滞緩和に力をいれて欲しい。国道一号線や湖岸道路のあたりの渋滞がひどい。
- ふだんは最寄駅へ行くのに10分～15分ほどだが、通勤時は30分を下らない。この差が何とかなればと思う。これから宅地造成が進むのでますます大変になると思う。
- 公共交通の充実が理想だが、それが現実的でない地域もある。バス停までの徒歩も困難な高齢者は生活のために車の運転をやめることができない。地方部では、一人一台の車を所有し、それぞれが車で移動するから余計に渋滞が激しくなるのでは。
- 県の真中に琵琶湖があり、幹線道路の整備に限られるため、渋滞が多いと思う。滋賀県は住み良い所と思うが、渋滞が唯一の難点と思う。渋滞緩和を切望する。
- 大津市周辺（浜大津など）の交通渋滞がひどい。滋賀県の産業の活性化を渋滞が妨げていると感じる。中心市街地へのアクセス改善と商業都市になるための取り組みが必要。

（交通安全について）

- 主要道路・幹線道路でも歩道がなかったり、あっても極端に狭かったりする場所がある。歩道の確保をしてほしい。
- 立派な歩道のある道路でも、歩道には雑草が生茂っていてスムーズに歩けない道路が見受けられる。保守管理の作業頻度が低いのでは。
- 小さい子どもがいるので、歩道をできるだけ整備し、ヒヤッとすることが少なくなるようにしてほしい。特に、静かに走行できるエコカーの普及が進む一方、細街路では歩道も整備されていない個所が多く、走行している自動車に歩行者が気づきにくくなっている。
- 主要な道路は道幅も充分確保されていて不便は感じない。一方、地域の道路については、通学路の歩道など拡充を実施してほしい。
- 道路工事中の迂回路に安全な歩道や自転車道が十分に確保されていないと思う。特に通学路では、歩行者や自転車の安全な走行空間を確保した上で工事を実施してほしい。
- 昔からある幹線道路は、歩道の整備が不完全で、危ないところも多い。特にひどいのが雪が降った時で、狭い歩道が除雪されず、自転車も歩行者も車道を走行せざるを得ない。こうした状況を何とかしてほしい。
- 車道よりも歩道を整備して欲しい。車が多いのに歩道がなく、危険な所が多い。また、傾きすぎて歩きにくかったり、車道部との段差が大きく自転車が傷む所もある。
- 幹線、市内部での自転車専用道路をもっと多く作って欲しい。
- 自転車が危ないと感じる。現状では、子供を自転車に乗らせるのは危険と感じる。ガードレールや自転車専用道路等を整備して欲しい。
- 大型車が多く走行している上、観光客等の自転車に乗って通る人も多く、危険な場面が多く見られる。自転車も車も安全に通れるようにしてほしい。

- 自転車の車道通行が義務付けられて以降、かえって自転車の危険が増している。健康・環境保全のためにできるだけ自転車を利用しようと思うが、恐怖感を持ってしまう。もっと自転車専用レーンを増やして欲しい。
- 滋賀県内の道路はある程度充実していると思うが、さらに安全性にも今後配慮した道路行政をお願いしたいと思う。
- 生活道路での走行速度を抑えるための工夫をしてほしい
(バンプの設置やカラー舗装など)

(除雪について)

- 狭い道路が多い。冬の除雪の予算は確保してほしい。(鯖街道など)
- 冬季除雪作業の充実が必要である。救急車が来られない道路がある。
- 雪国なので、融雪の設備がされた道路が多いが、水の流れによって溶けない場所ができたり、水がたまってしまったりする場所があり、走行するがこわい。

(維持管理について)

- 滋賀県は鉄道網がそれほど充実していないので道路が重要である。道路整備が進んでおり、かつ、予算も少ないということから、寿命が30~50年と言われる既存の道路及び橋の維持管理に予算を振り分けるのが良いと思う。
- 道路環境の場所による落差を感じてしまう。新しく作ることよりも維持は難しいと思いますが、作った限りはしっかり管理して欲しい。
また、自動車と歩行者の空間をしっかりと分けることも必要と思う。
- 白線・黄線などの道路標示の劣化が激しい場所がある。また、分離帯や道路脇の雑草や樹木が伸びて視界の妨げになっているところもある。
- 緑地帯の草刈りなどを積極的に実施して欲しい。緑地帯の整備も良いですが、草が生えない工夫をしてみても良いと思う。
- 私が利用する道路は交通量は少なく、整備もされており走行しやすいため、大型のトラックが生活圏にまで入り込んでる場面を目にする。トラックとの住み分けが出来ればと思う。
地方部では道路脇の雑草が視界を狭めている場合があり、適切な管理作業が必要と思う。

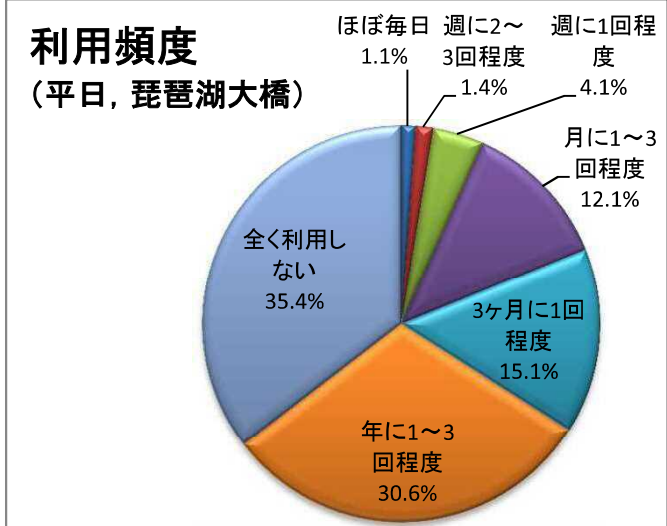
(感想)

- 車に乗り出して20年以上になるが、計画道路の整備や交差点などの改良が着実に進捗している印象がある。
- 車線数が時間により変わる運用があるが非常に危険な感じがする。
- 道路用地のせいか、曲がりくねった県道が多いと感じる。また、舗装品質によるのか、走行時のタイヤ音が大きいくるさく感じる路面の道路が多いと思う。

ここからは、琵琶湖大橋（守山市今浜町と大津市堅田を結ぶ有料の道路）について伺います。
 琵琶湖大橋は、滋賀県道路公社が建設・管理しており、現在普通車で200円の通行料金を公社に支払っていただいています。この料金収入により、建設にかかった費用の返済と維持管理および修繕を行っています。
 今後建設費の返済が終わると、琵琶湖大橋有料道路を公社から県が引き継ぐこととなります。このことにより、通行料金は原則無料となり、維持管理および修繕は県が税金で行うこととなります。
 しかし、琵琶湖大橋は長大な橋であることから、県が管理している他の一般的な道路や橋に比べ維持管理などにかかる費用が高く県財政への負担が大きいという課題があります。
 そこで、今後の琵琶湖大橋の維持管理のあり方などについて、あなたのお考えをお伺いします。

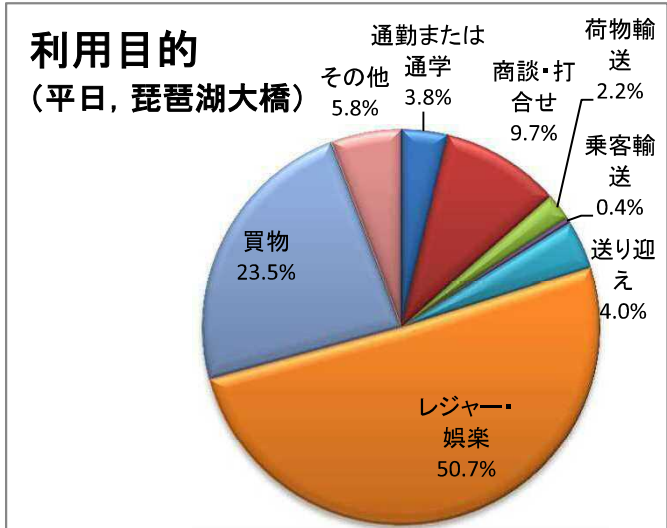
問12 平日において、現在あなたが自動車を運転して琵琶湖大橋を走行する頻度を1つ選んでください。

項目	人数	割合
ほぼ毎日	8人	1.1%
週に2~3回程度	10人	1.4%
週に1回程度	29人	4.1%
月に1~3回程度	85人	12.1%
3ヶ月に1回程度	106人	15.1%
年に1~3回程度	214人	30.6%
全く利用しない	248人	35.4%
合計	700人	100.0%



問13 平日において、現在あなたが自動車を運転して琵琶湖大橋を走行する際の主な移動目的を1つ選んでください。
 (問12で「全く利用しない」以外を選んだ方(452名)を対象)

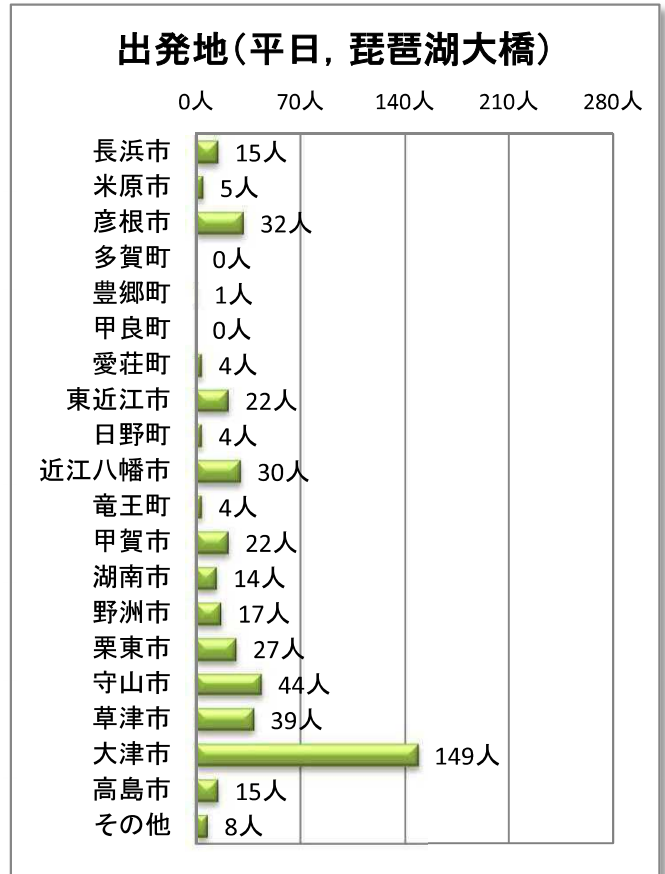
項目	人数	割合
通勤または通学	17人	3.8%
商談・打合せ	44人	9.7%
荷物輸送	10人	2.2%
乗客輸送	2人	0.4%
送り迎え	18人	4.0%
レジャー・娯楽	229人	50.7%
買物	106人	23.5%
その他	26人	5.8%
合計	452人	100.0%



問14 前問でお答えになった目的について、出発地と目的地をそれぞれ選んでください。
 (問12で「全く利用しない」以外を選んだ方(452名)を対象)

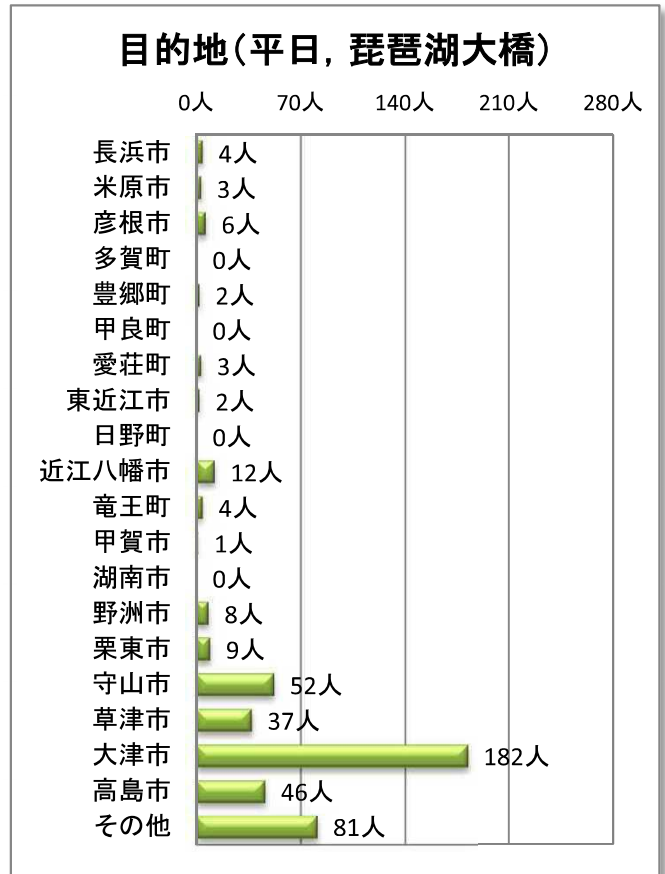
①出発地

項目	人数	割合
長浜市	15人	3.3%
米原市	5人	1.1%
彦根市	32人	7.1%
多賀町	0人	0.0%
豊郷町	1人	0.2%
甲良町	0人	0.0%
愛荘町	4人	0.9%
東近江市	22人	4.9%
日野町	4人	0.9%
近江八幡市	30人	6.6%
竜王町	4人	0.9%
甲賀市	22人	4.9%
湖南市	14人	3.1%
野洲市	17人	3.8%
栗東市	27人	6.0%
守山市	44人	9.7%
草津市	39人	8.6%
大津市	149人	33.0%
高島市	15人	3.3%
その他	8人	1.8%
合計	452人	100.0%



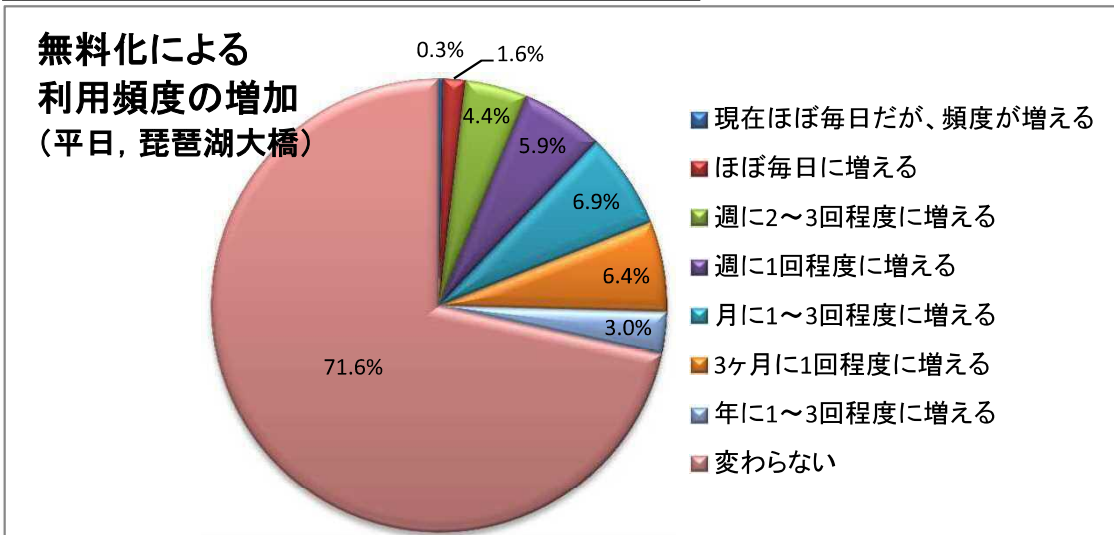
②目的地

項目	人数	割合
長浜市	4人	0.9%
米原市	3人	0.7%
彦根市	6人	1.3%
多賀町	0人	0.0%
豊郷町	2人	0.4%
甲良町	0人	0.0%
愛荘町	3人	0.7%
東近江市	2人	0.4%
日野町	0人	0.0%
近江八幡市	12人	2.7%
竜王町	4人	0.9%
甲賀市	1人	0.2%
湖南市	0人	0.0%
野洲市	8人	1.8%
栗東市	9人	2.0%
守山市	52人	11.5%
草津市	37人	8.2%
大津市	182人	40.3%
高島市	46人	10.2%
その他	81人	17.9%
合計	452人	100.0%



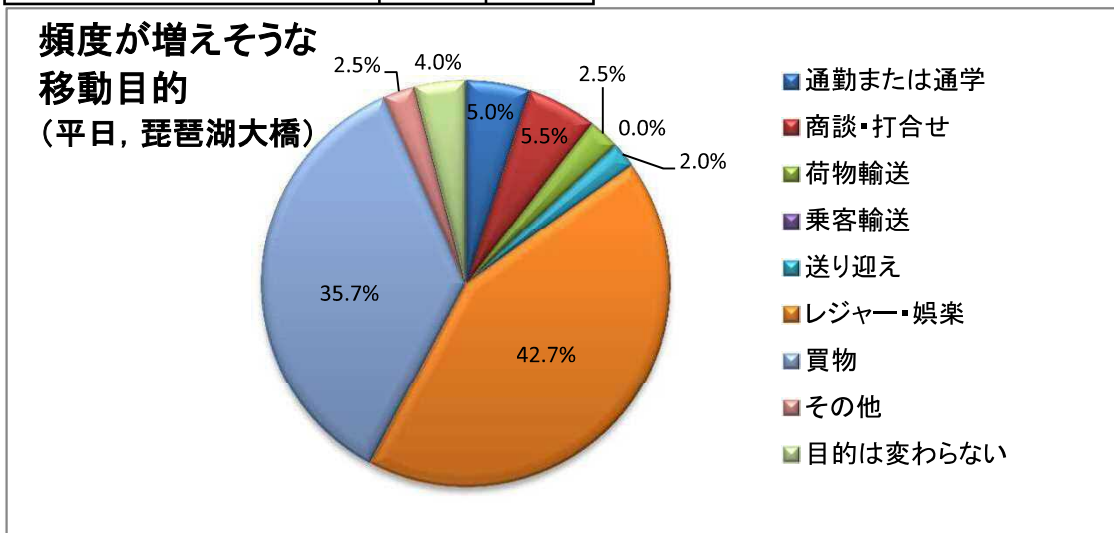
問15 平日において、琵琶湖大橋が無料になった場合、あなたが自動車を運転して琵琶湖大橋を利用する回数がどの程度増えるか、あてはまるものを1つ選んでください。

項目	人数	割合
現在ほぼ毎日だが、頻度が増える	2人	0.3%
ほぼ毎日が増える	11人	1.6%
週に2~3回程度が増える	31人	4.4%
週に1回程度が増える	41人	5.9%
月に1~3回程度が増える	48人	6.9%
3ヶ月に1回程度が増える	45人	6.4%
年に1~3回程度が増える	21人	3.0%
変わらない	501人	71.6%
合計	700人	100.0%



問16 平日において、琵琶湖大橋が無料になった場合、あなたが自動車を運転して琵琶湖大橋を利用する回数が増える主な移動目的を1つ選んでください。
(問15で「変わらない」以外を選んだ方(199名)を対象)

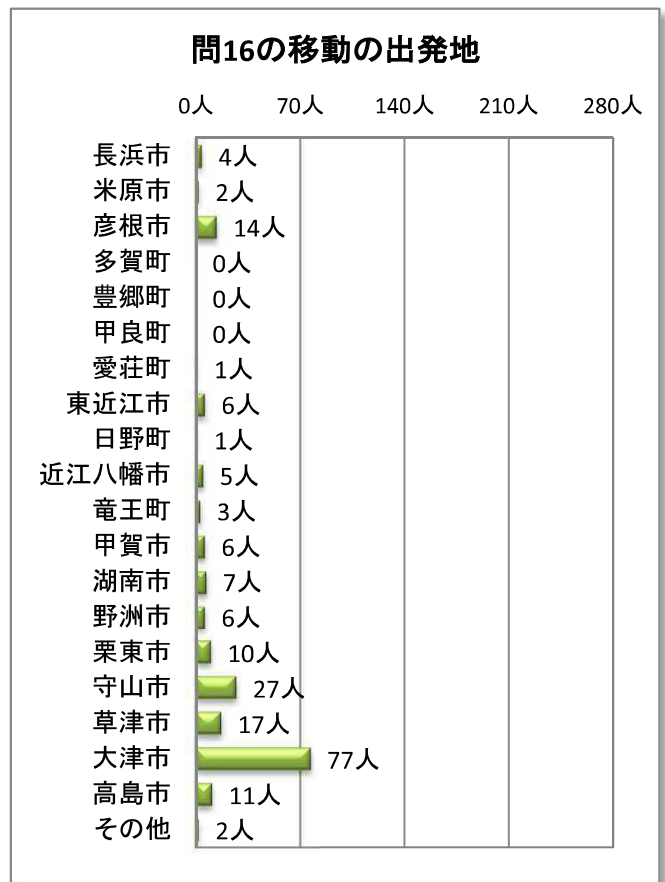
項目	人数	割合
通勤または通学	10人	5.0%
商談・打合せ	11人	5.5%
荷物輸送	5人	2.5%
乗客輸送	0人	0.0%
送り迎え	4人	2.0%
レジャー・娯楽	85人	42.7%
買物	71人	35.7%
その他	5人	2.5%
目的は変わらない	8人	4.0%
合計	199人	100.0%



問17 前問でお答えになった目的について、出発地と目的地をそれぞれ選んでください。
 ※前問で「目的は変わらない」を選択された場合も、現在から増えるであろう場所についてお答えください。

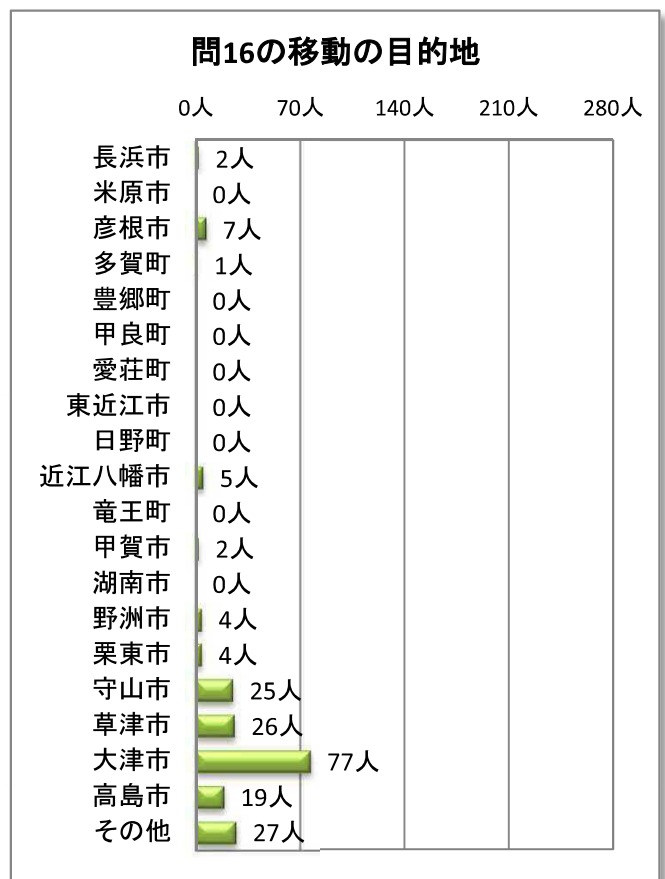
①出発地

項目	人数	割合
長浜市	4人	2.0%
米原市	2人	1.0%
彦根市	14人	7.0%
多賀町	0人	0.0%
豊郷町	0人	0.0%
甲良町	0人	0.0%
愛荘町	1人	0.5%
東近江市	6人	3.0%
日野町	1人	0.5%
近江八幡市	5人	2.5%
竜王町	3人	1.5%
甲賀市	6人	3.0%
湖南市	7人	3.5%
野洲市	6人	3.0%
栗東市	10人	5.0%
守山市	27人	13.6%
草津市	17人	8.5%
大津市	77人	38.7%
高島市	11人	5.5%
その他	2人	1.0%
合計	199人	100.0%



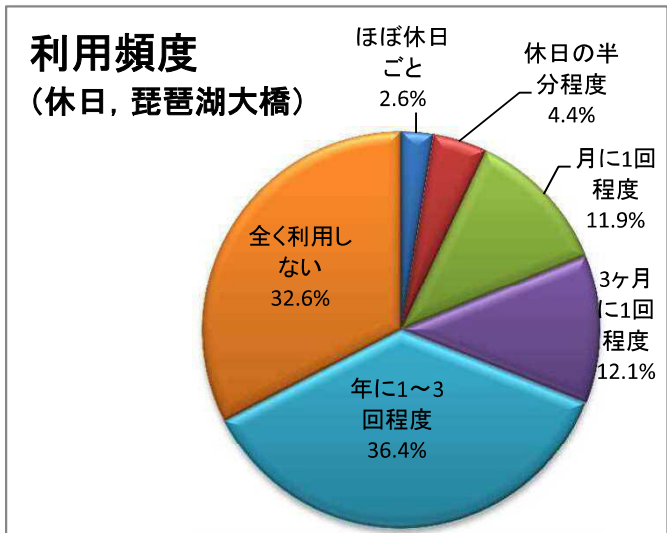
②目的地

項目	人数	割合
長浜市	2人	1.0%
米原市	0人	0.0%
彦根市	7人	3.5%
多賀町	1人	0.5%
豊郷町	0人	0.0%
甲良町	0人	0.0%
愛荘町	0人	0.0%
東近江市	0人	0.0%
日野町	0人	0.0%
近江八幡市	5人	2.5%
竜王町	0人	0.0%
甲賀市	2人	1.0%
湖南市	0人	0.0%
野洲市	4人	2.0%
栗東市	4人	2.0%
守山市	25人	12.6%
草津市	26人	13.1%
大津市	77人	38.7%
高島市	19人	9.5%
その他	27人	13.6%
合計	199人	100.0%



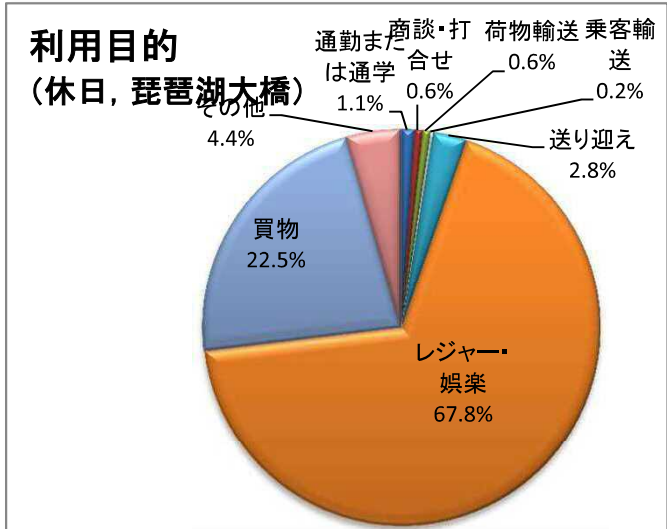
問18 休日において、現在あなたが自動車を運転して琵琶湖大橋を走行する頻度を1つ選んでください。

項目	人数	割合
ほぼ休日ごと	18人	2.6%
休日の半分程度	31人	4.4%
月に1回程度	83人	11.9%
3ヶ月に1回程度	85人	12.1%
年に1~3回程度	255人	36.4%
全く利用しない	228人	32.6%
合計	700人	100.0%



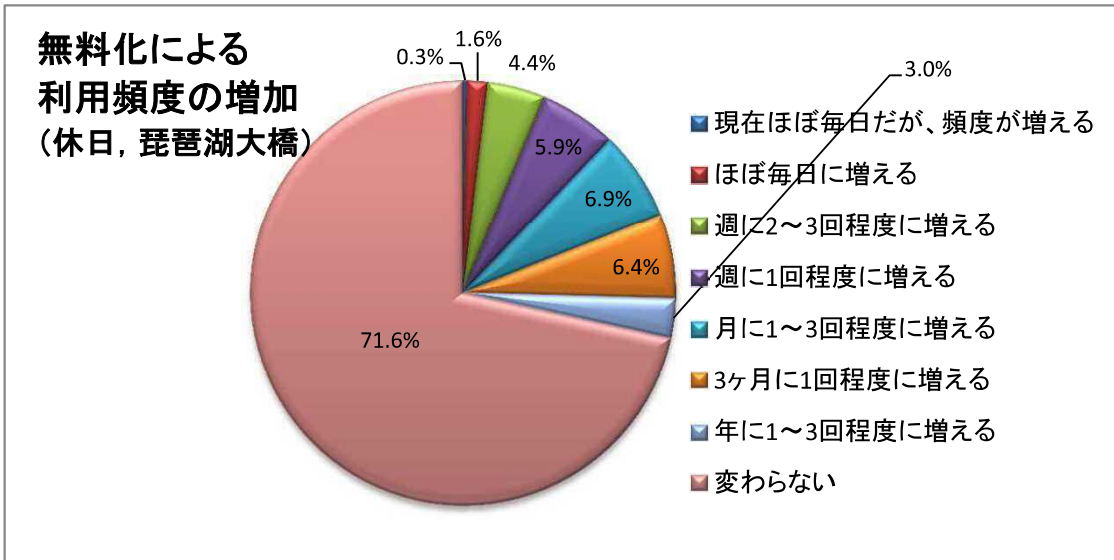
問19 休日において、現在あなたが自動車を運転して琵琶湖大橋を走行する際の主な移動目的を1つ選んでください。
(問18で「全く利用しない」以外を選んだ方(472名)を対象)

項目	人数	割合
通勤または通学	5人	1.1%
商談・打合せ	3人	0.6%
荷物輸送	3人	0.6%
乗客輸送	1人	0.2%
送り迎え	13人	2.8%
レジャー・娯楽	320人	67.8%
買物	106人	22.5%
その他	21人	4.4%
合計	472人	100.0%



問20 休日において、琵琶湖大橋が無料になった場合、あなたが自動車を運転して琵琶湖大橋を利用する回数がどの程度増えるか、あてはまるものを1つ選んでください。

項目	人数	割合
ほぼ休日ごとだが頻度が増える	10人	1.4%
ほぼ休日ごとに増える	28人	4.0%
休日の半分程度に増える	49人	7.0%
月に1回程度に増える	55人	7.9%
3ヶ月に1回程度に増える	53人	7.6%
年に1~3回程度に増える	26人	3.7%
変わらない	479人	68.4%
合計	700人	100.0%



問21 休日において、琵琶湖大橋が無料になった場合、あなたが自動車を運転して琵琶湖大橋を利用する回数が増える主な移動目的を1つ選んでください。
(問20で「変わらない」以外を選んだ方(221名)を対象)

項目	人数	割合
通勤または通学	5人	2.3%
商談・打合せ	3人	1.4%
荷物輸送	0人	0.0%
乗客輸送	0人	0.0%
送り迎え	4人	1.8%
レジャー・娯楽	142人	64.3%
買物	53人	24.0%
その他	3人	1.4%
目的は変わらない	11人	5.0%
合計	221人	100.0%

